

A1-1-9	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	貫抜二号雨水幹線	L=185m L=200m	海老名市							117 80	
A1-1-10	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	河原口排水区排水路	L=643m L=401.4m	海老名市							221 305	
A1-1-11	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	河原口雨水幹線	L=82m L=137m	海老名市							53 100	
A1-1-12	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	河原口排水区255号ほか1排水路	L=130m L=104m	海老名市							46 54	
A1-1-13	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	貫抜排水区4-2号排水路	L=57m 0	海老名市							35 0	
A1-1-15	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	今里排水区（その1）57号ほか3排水路	L=177m 0	海老名市							103 0	
A1-1-16	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	今里二号幹線	L=67m 0	海老名市							52 0	
A1-1-17	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	社家排水区（その3）排水路	L=764m L=885.6m	海老名市							280 167	
A1-1-18	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	杉久保雨水幹線	L=124m 0	海老名市							122 0	
A1-1-19	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	永池川直接流出区域20号ほか2排水路	L=215m L=214.8m	海老名市							27 36	
A1-1-20	下水道	一般	海老名市	直接		—	全種	施設計画の見直し検討	効率的な施設計画策定	海老名市							5 3	
A1-1-21	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	東原排水区排水路	L=429m L=244.5m	海老名市							58 49	
A1-1-22	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	永池川直接流出区域1408-1号排水路	L=128m L=127.9m	海老名市							29 10	
A1-1-23	下水道	一般	海老名市	直接		雨水	新設	今里排水区（その1）排水路	L=223m L=113m	海老名市							32 12	
相模川流域左岸処理区																		
A1-2-1	下水道	一般	海老名市	直接		汚水	新設	中河内幹線	L=1177m L=1166.9m	海老名市							292 336	
A1-2-2	下水道	一般	海老名市	直接		汚水	新設	40分区枝線	L=749m	海老名市							150 0	
A1-2-3	下水道	一般	海老名市	直接		汚水	改築	管渠・マンホール蓋長寿命化事業	調査計画策定	海老名市							20	防災・安全に移行
A1-2-4	下水道	一般	海老名市	直接		汚水	改築	管渠長寿命化（改築）	管更生等 L=0.9km	海老名市							23	防災・安全に移行
A1-2-5	下水道	一般	海老名市	直接		汚水	改築	マンホール蓋長寿命化（改築）	1331箇所	海老名市							87	防災・安全に移行
合計																	2,316 1,414	

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考			
									H23	H24	H25	H26	H27					
C-2-1	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	40分区枝線	L=5327m L=604.6m	海老名市									483 73	
C-2-2	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	内水ハザードマップ	調査計画策定	海老名市									15 13	
合計																	498 86	

番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
C-2-1	基幹事業の主要な管渠に接続する枝線を整備することにより普及促進を図る。																	
C-2-2	内水ハザードマップの作成により、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。																	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の状況

①浸水被害箇所や未整備路線を整備することにより、都市浸水対策達成率が2.5%増加し、浸水被害の低減が図られた。
 ②汚水幹線・枝線の整備を促進したことにより、下水道処理人口普及率が0.8%増加し、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全が図られた。
 ③、④については、「海老名市の公共下水道における防災・安全の実現」で評価いたします。

II 定量的指標の達成状況	指標① 下水道による都市浸水対策達成率を40% (H23)から42% (H27)に増加させる。	最終目標値	42.0%	目標値と実績値に差が出た要因	集中豪雨等による浸水箇所を優先して事業を行ったため未整備箇所もあったが、都市浸水達成率は実績値で0.5%上昇し目標達成となった。 浸水対策完了済み面積 (ha) 平成27年度末 642ha 浸水対策を実施すべき面積 (ha) 1509ha 浸水対策達成率 642ha/1509ha=42.5%
		最終実績値	42.5%		
	指標② 下水道処理人口普及率を96.4% (H23)から96.8% (H27)に増加させる。	最終目標値	96.8%	目標値と実績値に差が出た要因	目標値である普及率96.8%に対して、実績95.7%となり目標値を達成することができませんでした。これは、計画当初の平成23年において算定の基となる住民基本台帳上の総人口には外国人は含まれておらず、平成24年7月に出入国管理及び難民認定法等が改正されて外国人も住民基本台帳法の対象となったことで、算定の基となる総人口が増加したことが原因となっております。 【参考】 平成27年の住民基本台帳の総人口から外国人を除くと人口普及率は【97.2%】となり、平成27年度末最終目標値普及率【96.8%】より上昇しております。
		最終実績値	95.7%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

枝線の整備を促進したことにより、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全が図られた。
 内水ハザードマップを作成し、住民に配布することにより、災害時における住民の適切な対応を促すことができるようになった。

3. 特記事項 (今後の方針等)

①雨水については、局所的な集中豪雨など、内水氾濫による浸水被害を軽減するため、浸水被害箇所や未整備路線の整備を今後も継続する。
 ②汚水については、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るため、海老名市汚水処理計画に基づき重点対策として、下水道の未普及地域の解消に向け整備を進める。
 ・指標③、④については、「海老名市の公共下水道における防災・安全の実現」の計画で今後実施していきます。

計画の名称	海老名市における循環のみちの実現	交付対象	海老名市
計画の期間	平成23年度～平成27年度		

相模川流域左岸処理区

